



柿  
安

**2019年2月期**

**決算説明会資料**

**2019年 4月22日**

**株式会社 柿安本店**

# 1. 2019年2月期 業績



〔通期〕

(単位:百万円)

	個別決算				＜参考：前期連結決算 ※＞		
	2019年2月期 実績	(対売上比)	前年差異	前年比増減	2018年2月期 実績	前年 差異	前年比 増減
<b>売上高</b>	<b>44,342</b>	-	<b>+591</b>	<b>+1.4%</b>	43,957	+385	+0.9%
(売上原価)	22,417	50.6%	+181	+0.8%	22,236	+181	+0.8%
(販管費)	19,585	44.1%	+567	+3.0%	19,117	+468	+2.4%
<b>営業利益</b>	<b>2,338</b>	5.3%	<b>△157</b>	<b>△6.3%</b>	2,603	△264	△10.2%
<b>経常利益</b>	<b>2,412</b>	5.4%	<b>△173</b>	<b>△6.7%</b>	2,681	△269	△10.1%
<b>当期純利益</b>	<b>1,630</b>	3.7%	<b>+21</b>	<b>+1.3%</b>	1,671	△41	△2.5%

※ 2018年6月8日付で柿安グルメフーズ株式会社を吸収合併したことに伴い、2019年2月期第2四半期より個別財務諸表のみ作成しておりますが、参考として2018年2月期の連結数値も表記しております。

# ◆ 2019年2月期 セグメント概要



〔通期〕

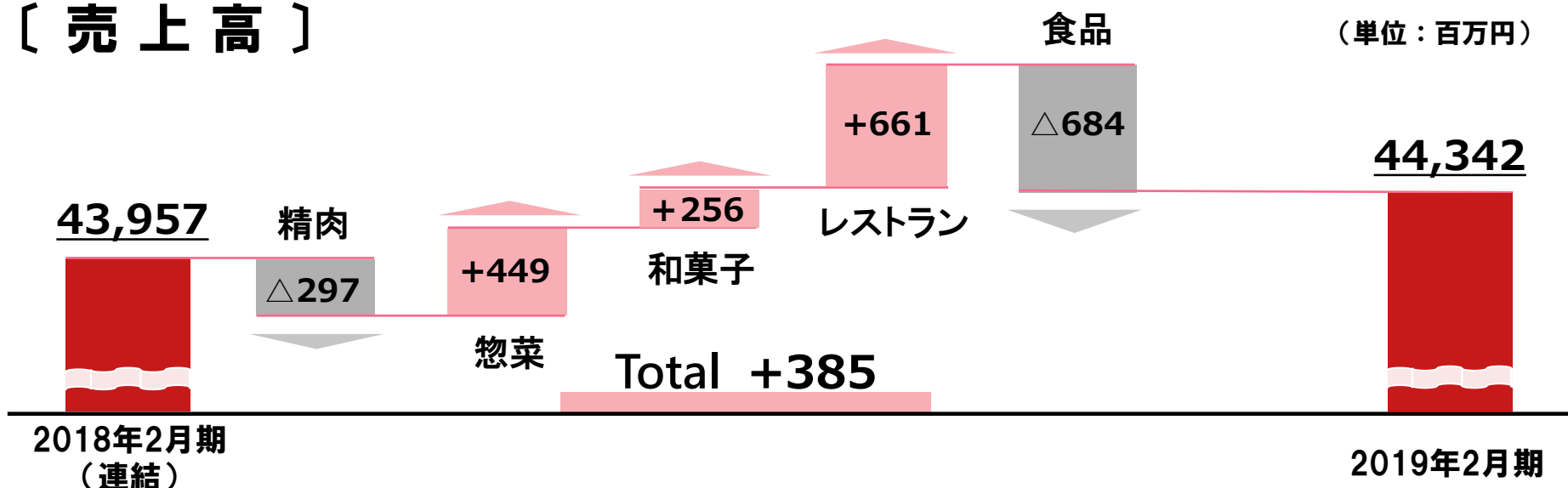
(単位:百万円)

	売上高				セグメント利益または損失(△)			
	2019年 2月期	2018年 2月期(連結)	前年比 (%)	前年差異	2019年 2月期	2018年 2月期(連結)	前年比 (%)	前年差異
精肉事業	15,359	15,657	98.1%	△297	1,623	1,669	97.2%	△46
惣菜事業	13,830	13,380	103.4%	+449	1,235	1,300	95.0%	△65
和菓子事業	7,496	7,240	103.5%	+256	362	542	66.9%	△179
レストラン事業	5,455	4,793	113.8%	+661	54	111	49.1%	△56
食品事業他	2,199	2,884	76.3%	△684	331	340	97.4%	△8
(調整額)	—	—	—	—	△1,268	△1,361	—	+92
合計	44,342	43,957	100.9%	+385	2,338	2,603	89.8%	△264

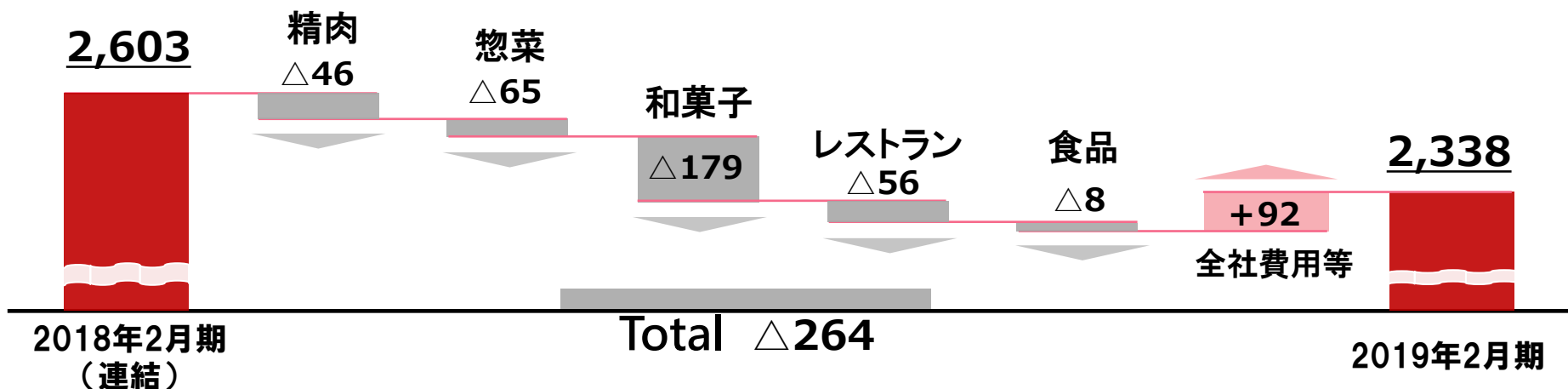
注:2018年6月8日付で柿安グルメフーズ株式会社を吸収合併したことに伴い、2019年2月期第2四半期より個別財務諸表のみ作成しておりますが、本セグメント概要では参考として2018年2月期の連結数値と比較しております。

# ◆ 2019年2月期 売上高・利益増減要因

## 〔売上高〕



## 〔利益〕



## ◆ 2019年2月期 出退店の状況



	2018年2月 期末店舗数	出店	退店	2019年2月 期末店舗数
精肉事業	36	2	1	37
惣菜事業	92	5	—	97
和菓子事業	195	23	6	212
レストラン事業	31	17	2	46
食品事業	17	—	3	14
合計	371	47	12	406

## 2. 2020年2月期 通期業績予想



〔通期〕

(単位:百万円)

	2020年2月期 予想	(対売上比)	2019年2月期 実績	(対売上比)	前年差異	前年比 増減
<b>売上高</b>	<b>46,000</b>	-	<b>44,342</b>	-	<b>+1,657</b>	<b>+3.7%</b>
(売上原価)	23,280	50.6%	22,417	50.6%	+862	+3.8%
(販管費)	20,140	43.8%	19,585	44.1%	+554	+2.8%
<b>営業利益</b>	<b>2,580</b>	5.6%	<b>2,338</b>	5.3%	<b>+241</b>	<b>+10.3%</b>
<b>経常利益</b>	<b>2,600</b>	5.7%	<b>2,412</b>	5.4%	<b>+187</b>	<b>+7.8%</b>
<b>当期純利益</b>	<b>1,600</b>	3.5%	<b>1,630</b>	3.7%	<b>△30</b>	<b>△1.8%</b>

# ◆ 2020年2月期 出退店計画



	2019年2月 期末店舗数 (実績)	出店	退店	2020年2月 期末店舗数 (計画)
精肉事業	37	1	—	38
惣菜事業	97	4	1	100
和菓子事業	212	5	12	205
レストラン事業	46	15	3	58
食品事業	14	—	—	14
合計	406	25	16	415

### 3. 今後の取り組みについて

#### (1) 当社を取り巻く環境

##### ①市場

→マイナス要因

- ・先行き不透明な景気動向(10月 消費増税)

<参考>2018年の百貨店 商品別売上高前年比

生鮮食品△3.4% 惣菜△1.5% ※日本百貨店協会HPより

→プラス要因

- ・新元号「令和」、10連休  
ラグビーW杯、閏年

##### ②費用(コスト)

- ・原材料費、人件費、物流費等の上昇



### 3. 今後の取り組みについて

#### (2) 今期の経営方針

～地盤固め及び次の事業拡大に向けて～

①既存店の強化

②新規市場開拓、新業態開発

#### (3) 各事業の取り組み

①精肉

～継続的な安定成長～

・前期の新店、改装店の強化

②惣菜

～継続的な安定成長と新たな市場開拓～

・駅ビル、路面店等の業態確立及び開拓

### 3. 今後の取り組みについて

#### ③和菓子

～収益性の改善～

- ・既存店の強化
- ・不採算店の整理

#### ④レストラン

～収益性の改善と成長～

- ・フードコート型レストランの出店継続
  - 複合ブランド出店による売上拡大
  - 第3、第4ブランドの業態開発
- ・ビュッフェ業態の再構築
  - 「中華」「しゃぶしゃぶ」の複合業態出店
- ・料亭業態の利益改善

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。  
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。